

教学報告

文部科学省 大学改革GP (Good Practice)事業 採択プログラム

中央大学は、さまざまな教育改革の取り組みを行っています。その中でも、以下の2件の取り組みについては、文部科学省が選定す

る「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」における平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」に採択されました。

■ 「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム【テーマB】

学生の社会的能力向上と将来の就労イメージ醸成の支援環境の提供

文部科学省による「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」に、本学キャリアセンターから提出した『学生の社会的能力向上と将来の就労イメージ醸成の支援環境の提供』が採択されました。今年度より3年間の実施となります。

キャリアセンターでは、昨今問題となっている、学生の就業目的と実際の進路の不適合による早期退職等の問題への解決策のひとつとして、学生の社会的能力の認識と社会での応用に主眼を置くべきではないかと考えております。本補助事業を通し、学生が自己分析・自己理解を深め、自らを知り、社会に通用する自分自

身の能力の理解を図り、「なりたい自分」や「なれそうな自分」のイメージを持つことを促進する活動を行うとともに、その能力をどのような方向で発揮していくのかについて多くの企業と相談する場を設け、将来の進路を決定する活動をサポートします。

本年度においては、自己を知るために「能力開発講座(プレゼンテーション、プロデュース力、チーム力等)」を実施するとともに、700社を招いて、学生と企業の交流の場の開催を推進します。また、学生へのイベント告知をより綿密にするためのWebサーバーの構築も合わせて実施します。

■ 「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム【テーマA】

段階別コンピテンシー育成教育システム

理工学部による『段階別コンピテンシー育成教育システム』が、文部科学省より平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム」(GP)に選定されました。各大学等から申請された649件のうち96件、14.8%のみが選定されました。

本取組は、情報工学科が実施している「映像系コンピテンツエンジニア」教育プログラムを中核として、理工学部各学科が育成する人材に必要な学士力を具現化するコンピテンシー*を具体的かつ段階別に定義し、

その取得を目指します。そして、理工学部卒業生のコンピテンシー到達度を継続的に保障するために、教育のPDCAサイクルを活性化させ、必要な環境を整えます。

*コンピテンシー

ある場面において偶然起こす行動ではなく、その人が身に付けた知識や能力や思考体系をもとに発現する「行動特性」のこと。企業ではその人の職務への適性を判断する材料にも使う。

■ 「大学教育・学生支援推進事業」の概要（文部科学省ホームページより）

大学教育・学生支援推進事業は、各大学・短期大学・高等専門学校(以下、「大学等」という)から申請された、各大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にした効果が見込まれる取組を選定し、

広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的として実施します。